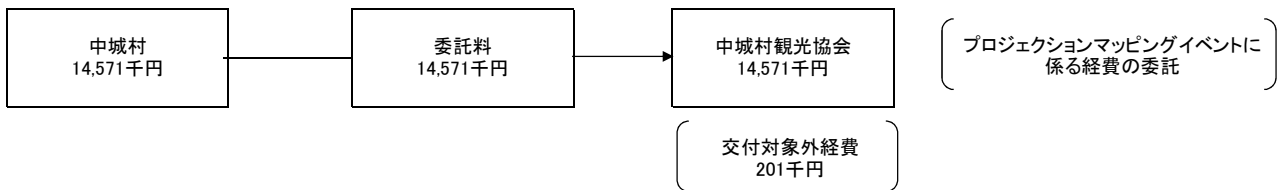


市町村名	中城村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	繰2-②	観光誘客促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	地域の伝統芸能継承及び観光誘客を図るため、「世界遺産中城城跡プロジェクションマッピング」を開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	R3年度(繰越)	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15000	15,000	31,452	15,280	0
		(b) 予算現額	12468	15,000	31,452	15,280	0
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,532	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	14,708
		A. 計(b+d)	12,468	15,000	31,452	15,280	14,708
		B. 執行済額	12468	13790	29189	363	14,007
		うち交付金充当額	9974	11032	23351	290	11,206
		次年度繰越額	0	0	0	14,708	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	91.9%	92.8%	2.4%	95.2%
予算の状況の説明	○ R3年度(繰越)額について執行率は95.2%であり、計画どおり執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光振興イベントの開催	目標	開催	開催	コロナの為 休止	開催	
		実績	開催	開催	コロナの為 休止	開催	
		目標					
		実績					
達成状況説明	世界遺産を活かした観光イベントを目標どおり実施することができ(10/29、30の2日間)、観光客の誘客促進に繋がった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	プロジェクションマッピングイベント来場者数	目標	()	(9,300人)	(休止)	(9,000人)	()
		実績		6,675人	休止	8,434人	
	伝統芸能の継承 伝統芸能団体出演者数:38人	目標	()	(35人)	(休止)	(38人)	()
		実績		38人	休止	93人	
	進捗状況説明	SNSや村内飲食施設やコンビニなどへのポスター掲示等で広報を行い事業周知を行ったが、目標値にはわずかに届かなかった。また、イベントに伝統芸能や歴史文化に係るステージを継続し、多数の伝統芸能を披露する機会を確保したことから、伝統文化及び歴史文化継承促進を図る事ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能や歴史文化のステージには多くの村民が参加し芸能継承に資することができた。 ・2日間の開催期間の中でイベント内容を変更する等工夫をしながら、より一層の集客に取り組む必要がある。 ・インバウンドのお客様でも参加しやすい内容を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2日間の短期間日程であるが、1日目及び2日目と内容変更が可能か検証を行う。 ・会場で込み合った箇所などを図面化し、今後の開催に役立てる ・日本語で進行するイベント内容でも、イヤホンなど同時通訳ができる機材導入などを検討。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・来場者アンケートを分析し、新規来場者を獲得するためのアプローチ方法を検討するとともに、イベント内容の充実を図り来場者数の増加に取り組む。 ・中城村文化協会や各芸能団体の活動を継続させるため、各種助成や演舞等を発表できる場を創出に協力し各団体の会員増に繋げるとともに、イベントの検討段階から参加してもらい、イベント開催の意欲向上を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
14,571	14,370	11,496	2,874	201



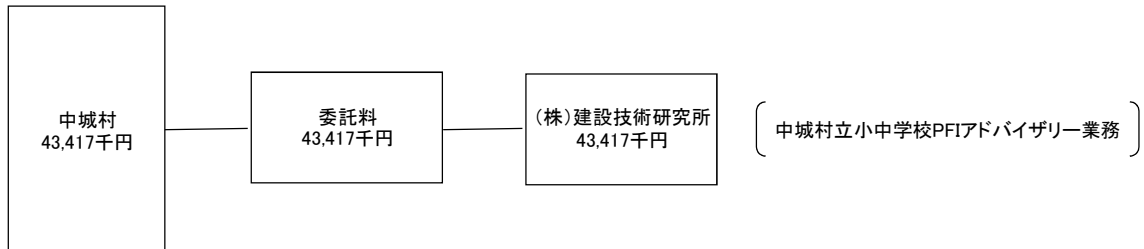
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は観光振興に資する団体を選定しており、妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○計画していた事業内容は実施され、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みても、予算規模は適正であったと考え。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、額の確定・精算時において支出等に関する書類により事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(5)-イ		
担当部署名	教育総務課	事業実施(予定)年度	令和2~8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域産業を担う人材の育成 Ⅲ-5-(3)-ウ		
事業内容	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長年にわたる安定的な資金の確保を支援する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和8年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	35000	45,000			
	(b)予算現額	21439	43,417				
	(c)増減額(b-a)	▲13,561	▲1,583	0			
	(d)繰越額			43,417			
	A.計(b+d)	21,439	43,417	43,417			
	B.執行済額	21439	0	43,417			
	うち交付金充当額	15162	0	34,733			
	次年度繰越額		43417				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	0.0%	100.0%			
予算の状況の説明	適切に予算執行し、目的通り執行することができた						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	実施事業者との契約	目標	民間活力導入調査実施	契約			
		実績	民間活力導入調査実施	契約			
		目標					
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症及びウクライナ戦争等の影響によって物価高騰が激しく、事業者の関心を得られるか懸念があったが、公募を行った結果、多くの事業者に参画をしていただいた。 ・選定委員会を立上げ、適切に事業者を選定し、契約を締結した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(8年度)
	実施事業者との契約	目標	()	(調査の完了)	(契約)	()	()
		実績		調査の完了	契約		
	【参考指標】 建設事業の実施(基本設計、実施設計、仮設校舎整備)	目標	()	()	()	(実施)	()
		実績				実施	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針等は全て公表し、公募型プロポーザル方式による総合評価によって、優先交渉者を選定した。 ・民間事業者の創意工夫によって財政負担の削減効果(約16.1%)が図られた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> SPC内において地元企業は2社であった。また、多くの地元企業から本事業に参画する関心表明を受けており、協力企業において地元企業を多く構成できるように調整を行う。 県内初の事例であることから、SPCを適切にモニタリングする必要がある。 	<p>SPCが作成する計画と要求水準書との整合性を確認するほか、設計が完了し、工事を行う際にも同様に工事管理計画等の状況を確認していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>民間の活力を最大限に活用するPFI事業は、県内事業者において事例が少なくノウハウが乏しい環境にあるため、様々な調整に時間を要することが予測されるが、SPCと連携し、モニタリングを実施していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
43,417	43,417	34,733	8,684	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザルにより選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模については、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○事業目的達成の観点から、事業は適切に実施されており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	